

# スポーツ交流大会 ～世代や国籍を越えてスポーツを楽しむ～



江陽地区のスポーツ交流大会について、江陽町内連合会 えさしかかずひろ 江刺家一弘会長にお話をうかがいました。

## ○スポーツ交流大会について

江陽地区では、毎年9月の日曜日に江陽小学校のグラウンドや体育館でスポーツ交流大会を開催しています。企業で働く外国人が多い地区なので、地元住民や児童生徒だけではなく、企業にも参加を呼びかけています。参加者は200人程度です。

## ○地域の実状に合わせた方向転換

参加者の高齢化が進んだ実状に合わせ、大会の内容を徐々に変えてきました。徒競走といった体力勝負の競技は減らし、玉入れなど、ゲームやレクリエーションに近い、みんなで楽しめる種目を増やすようにしています。

## ○世代や国籍を越えて力を合わせる

児童生徒や外国人が各町内に数人ずつ入るようチーム分けをしています。世代や国籍が違うことで、初めはお互いに戸惑いますが、様々な競技を楽しみながら、同じ地域の一員として交流を深めていくことができます。

## ○今後について

最近は少子高齢化の影響で、地域のスポーツ交流に参加者を集めることに苦労している町内があることも現状です。しかし、スポーツ交流を通じて世代や国籍を越えて顔の見える関係が広がることにより、地域の安全安心につながっていきます。そのため、今後は、隣接している町内合同での参加なども考えながら、大会を続けていきたいと思っています。



開会式の様子